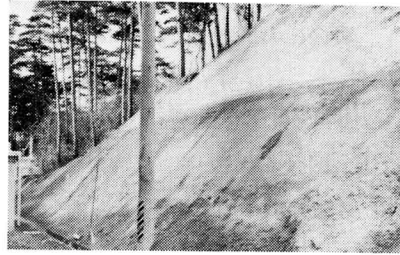


穂積小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

学校の東方向300 mで採石置場の西側のがけ



(2) がけから離れて地層全体を観察する。

観察に先がけ、事務所で許可を受けてから置場に入るように。

① 地層が見通せる所からがけの全体を観察する。

② 地層の重なり方や傾きに注意して地層を書き入れる。

また、地層の厚さ、色など気付いたことを書き入れておく。

調査に出かける前に、全員で学校の裏のけずり取ったがけの地層を観察し、

どのような特徴があるか調べておくと、学校裏に観察された2枚の地層のうちの下地の層と採石置場の㊸層とは、地層の色や、岩質が同じであることに気付く。

③ 学校の裏山や、採石置場の残丘は、これらの地層が積み重なってできていることを理解するとともに、地層には広がりがあることも理解する。

(3) 地層に近づいてその特徴を観察させる。

学校の裏のがけでは2層しか観察されませんが、ここでは3層観察されます。

㊸層は細かい砂層で、指でさわってみると、ややふんわりした感じがあります。この感じは軽石のような火山灰が混じっているためです。この地層は正しくは凝灰岩質細粒砂層で

